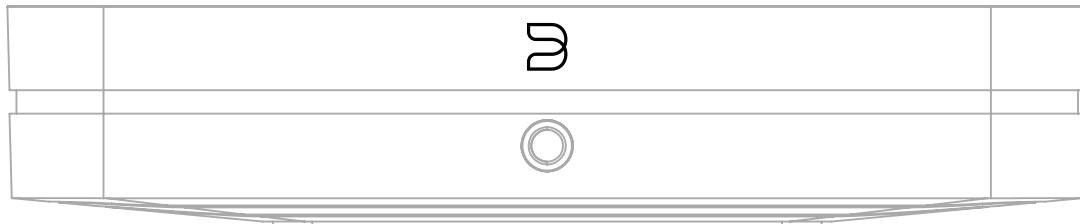


SLUESOUND

# NODE

ワイヤレス・ミュージック・ストリーマー



取扱説明書

v. N132

# Bluesoundへようこそ

このたびはNODEをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。NODEは、あらゆるアンプやアクティブスピーカーと連携し、ハイレゾ音源を日常生活で手軽に楽しめるネットワーク・ミュージック・ストリーマーです。

## BluOS

BluOSマルチルーム・ミュージック・ストリーミング・プラットフォームは、ハイレゾ・ストリーミング・オーディオのための世界有数のエコシステムであり、ブルーサウンド製品のバックボーンです。NODEには音楽サービスが内蔵されているので、お気に入りのアーティストやプレイリストを聞くのも簡単です。クラス最高のアナログRCA出力を使用して NODEをオーディオシステムに接続するか、同軸、光、またはUSBでデジタル信号を渡します。

BluOSコントローラー・アプリを使用すれば、NODEを他のブルーサウンド・プレーヤーとグループ化して家全体でリスニング体験を楽しんだり、ステレオにハイレゾ・ストリーミングを追加する作業をすべてNODEに任せたりできます。いずれにしても、NODE を使用すると、既存のアンプやパワードスピーカーでハイレゾ・リスニングを楽しむことがこれまで以上に簡単になります。

この取扱説明書では、NODEとその機能についてより詳しく説明します。また、トラブルシューティングのヒントやコツ、ネットワークのベストプラクティスも紹介します。ダウンロードで入手できる、クイック・セットアップ・ガイドは、ネットワークに接続して音楽を聞く準備を整えるのに役立ちます。

その他のヘルプや情報が必要な場合は、support.bluesound.com をご覧いただくか、以下のアドレスからお問い合わせください。

<https://pdn.co.jp/support.html>

## 付属品



AC電源コード



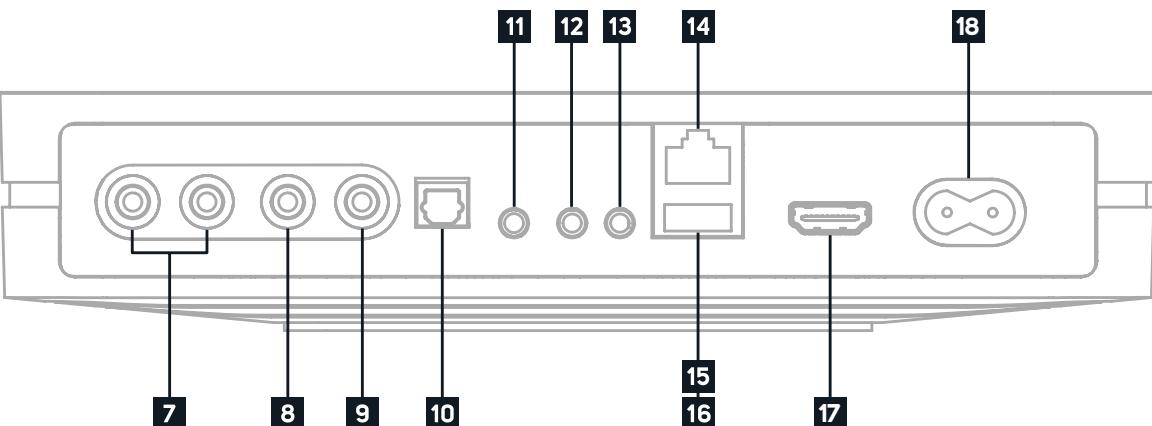
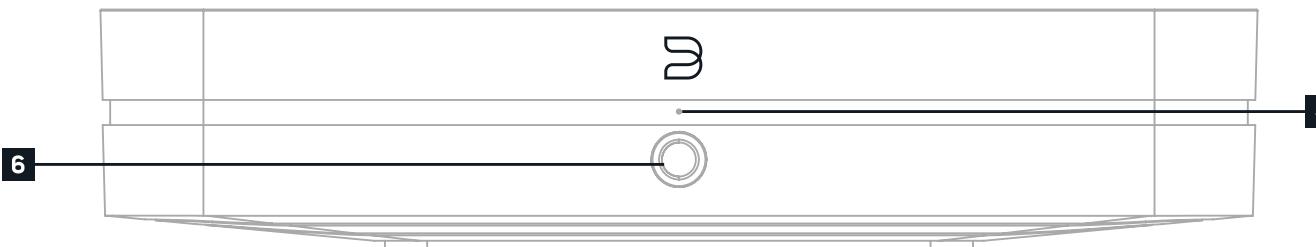
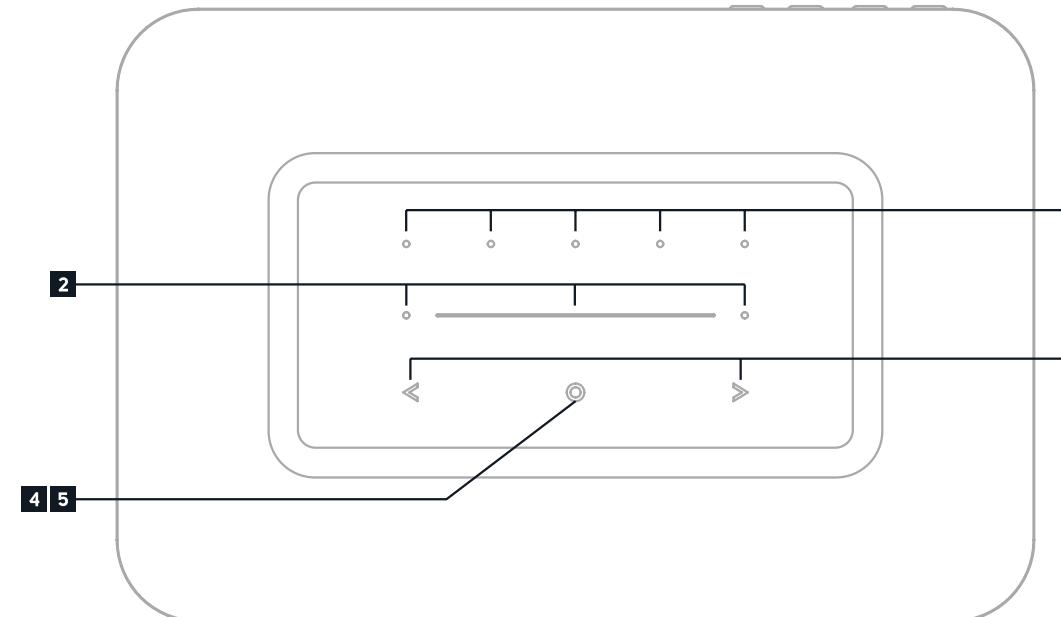
RCAピンケーブル



イーサネットケーブル



トスリンク-ミニプラグ変換アダプター



- 1 プリセット** NODEには5つのプログラム可能なプリセットボタンがあります。これらはBluOSアプリのプリセットメニューを使用して設定します。
- 2 ボリュームスライダー/タップ** LEDスライダーを使って音量レベルを変化させます。スライダーの両端にあるボタンをタップすると音量レベルが1dB間隔で変化し、調整したい方向にスライダーをタップすると音量レベルが3dB間隔で変化します。これらの音量タップ操作により、音量設定の微調整が可能です。
- 3 前トラック/後トラック** これらのボタンを使用すると、現在の再生キュー内の前のトラックに戻ったり、次のトラックにスキップしたりできます。
- 4 ステータス・インジケーター** 以下に、LED点滅コードとそれに対応する説明を示します。

LED点滅コード	状態説明
短い青の点滅、その後赤点灯	電源投入、本体の再起動
緑の点灯	ホットスポットモード
緑の点滅	ネットワークへの接続試行中
白の点滅	利用可能なソフトウェア・アップデートがあります
赤の点灯	アップグレード・モード
赤と緑が交互に点滅	アップグレード中
青の点滅	ミュート・モード
白の点灯	インデックス作成中
青の点灯	ネットワークに接続済み - BluOS アプリの使用が可能
赤の点滅	ファクトリーセット処理中
紫の点灯	ホットスポット・モードがタイムアウト

- 5 再生/一時停止ボタン** このボタンには、ネットワーク接続の視覚的なインジケーターと再生/一時停止ボタンなど、複数の機能があります。LED点滅コードの完全なリストについては、#4 ステータス・インジケーターを参照してください。グループ化されていないプレーヤーの場合、ボタンを押してストリームを再生または一時停止します。インターネットラジオ・ストリームを聞いている場合、一時停止機能は30秒間機能します。この時点ではバッファがいっぱいになりますストリームは停止します。プレーヤーがグループ化されている場合、再生/一時停止ボタンを押すとそのプレーヤーがミュートされ、他のプレーヤーはストリームを継続します。ミュートされると、プレーヤーのLEDは青く点滅します。このボタンはファクトリー・リセット機能にも使用されます。この説明書後半のファクトリー・リセットの手順を参照してください。

- 6 ヘッドホンジャック** NODEの前面には、6.35mmのヘッドフォンジャックがあります。
- 7 アナログ出力 (AUDIO OUT)** アンプ、レシーバー、ステレオ・システム、アクティブ・スピーカーの対応するアナログオーディオ入力に接続します。アナログ出力経由で接続すると、NODEの内部DACが使用されます。
- 8 サブウーファー出力 (SUBW OUT)** サブウーファーをNODEに直接接続することができます。SUBW OUTをパワード（アクティブ）サブウーファーに接続します。
- 9 同軸デジタル出力(COAX OUT)** 市販の同軸ケーブルを使用して、一方の端をNODEのCOAX OUTに接続し、もう一方の端をレシーバー、DAコンバーター、その他のデジタル・プロセッサーなどの互換性のあるデバイスの対応する同軸入力に接続します。COAX OUT経由で接続すると、NODEの内部DACがバイパスされます。
- 10 光デジタル出力 (OPTICAL OUT)** 市販のデジタル光ケーブルを使用して、一方の端をNODEのOPTICAL OUTに接続し、もう一方の端をレシーバー、DAコンバーター、その他のデジタル・プロセッサーなどの互換性のあるデバイスの対応する光入力に接続します。OPTICAL OUT経由で接続すると、NODEをバイパスします。OPTICAL OUT経由で接続すると、NODEの内部DACをバイパスします。
- 11 光デジタル入力/アナログ入力 (OPTICAL IN/ANALOG IN)** 市販の3.5mmステレオ・オーディオケーブルを使用して、一方の端をNODEのアナログ入力に接続し、もう一方の端を他の互換性のあるデバイスの対応するアナログ出力に接続します。ソースは、BluOSアプリでアナログ入力として表示されます。付属のトスリンク-3.5mmミニプラグアダプターを使用して、デジタル光ソースを追加することもできます。これはBluOSアプリで光入力として表示されます。

- 12 トリガー出力 (TRIGGER OUT)** TRIGGER OUTを使用して、DC12V信号を出力することができます。DC12V信号は3.5mmモノラルオーディオケーブルを使用して、対応する12Vトリガー入力を備えた他の外部デバイスを制御や起動するために使用することができます。
- 13 IR入力 (IR IN)** 赤外線エクステンダーを接続すると、フロントパネルのIRセンサーが見えないようにNODEが設置されているときに、プログラム可能な学習リモコン機能で音量やソースの選択を制御できるようになります。
- 14 LAN端子 (LAN)** LAN接続には、付属のイーサネットケーブルを使用します。NODEはルーターへWi-Fiでネットワークに接続できるため、この接続はオプションです。LANポートを使用してNODEを設定するには、有線イーサネット接続が必要です。イーサネットケーブルの一方の端を有線イーサネット・ブロードバンド・ルーターの LAN端子に接続し、もう一方の端をNODEのLAN端子に接続します。
- 15 USB入力(タイプA)** USB大容量ストレージ・デバイスをUSB入力に接続します。NODEと互換性のある一般的なUSB大容量ストレージ・デバイスには、ポータブル・フラッシュメモリー・デバイスや外付けハード・ドライブ（FAT32 または NTFS 形式）などがあります。[設定のサーバー・モード参照]
- 16 USB出力(タイプA)** NODEは、USBタイプAスロットを介してデジタルオーディオ(USBオーディオ2.0)を外部DACに転送できます。市販のUSBケーブルを使用して、一方の端をNODEのUSB出力に接続し、もう一方の端を別のDACデバイスの対応するUSB入力に接続します。BluOSアプリのNODEのオーディオ設定ページから USB DACを選択し、NODEの内部DACをUSBオーディオ出力経由でバイパスします。注: USB出力を選択すると、他のすべての出力（アナログとデジタル）は休止状態になります。
- 17 HDMI eARC** 市販のHDMIケーブルを使用して、一方の端をNODEのeARC入力に接続し、もう一方の端をテレビのARC/eARC 対応HDMI出力に接続します。テレビの設定でARC/eARCを有効にする必要がある場合があります。詳細については、テレビの取扱説明書を参照してください。ソースは、BluOSアプリではHDMI ARCまたはARCとして表示されます。
- 18 電源入力** プラグを壁のコンセントに接続する前に、AC電源コードのもう一方の端をNODEの AC電源入力ソケットにしっかりと接続してください。プラグを壁のコンセントに無理やり差し込まないでください。NODEのAC電源入力ソケットからケーブルを外す前に、必ず最初にプラグを壁のコンセントから外してください。

## ネットワーク

NODEはネットワーク オーディオ プレーヤーであり、正しく動作するには適切に実装されたローカルエリア・ネットワークが必要です。ソフトウェアの更新や、クラウドベースの音楽ストリーミングなどのプレーヤーの多くの機能を使用するには、インターネット・アクセスが必要です。

NODEを機器とAC電源に接続したら、ネットワークに追加する必要があります。フロントパネルのLEDが緑色に点灯し、「ホットスポット」モードでネットワーク接続の準備ができていることを示します。プレーヤーは、有線イーサネットまたはWi-Fi経由でワイヤレスでネットワークに追加できます。イーサネット・ケーブルをNODEの LAN ポートに差し込むだけです。LED が青色に点灯し、ネットワーク接続を示します。Wi-Fiを使用する場合は、スマートフォンまたはタブレットで BluOS アプリを開き、「プレーヤーの追加」 ウィザードを使用して手順を案内します。イーサネットまたは Wi-Fi のどちらで接続する場合でも、BluOS アプリ内で NODE を初期化してセットアップを完了する必要があります。

## プリセット

BluOSコントローラー・アプリを使用して、お気に入りのラジオ局、音楽ストリーム、プレイリストのプリセットを設定できます。プリセットは、NODEの5つのプリセット・ボタン、または別売りのBluesound RC1リモコンなどのIRリモコンから呼び出すことができます。

## オーディオ設定

トーンコントロール: 有効にすると、プレーヤーの高音と低音の出力レベルを調整できます。

注: 有効にすると、プレーヤーの合計音量が6dB減少し、低音と高音の出力を -6dBから6dBまで調整できるようになります。MQA外部DACが有効になっている場合、トーンコントロールは無効になり、表示されません。

サブウーファー: サブウーファーを有効にすると、クロスオーバー スライダーにアクセスでき、プレーヤーと接続されたサブウーファー間のクロスオーバー周波数を調整できます。

再生ゲイン: 再生キュー内のトラック間で一貫した音量レベルを設定するには、次のいずれかを選択します。

- ・ **トラック・ゲイン** - 曲のメタデータのトラック・ゲイン値を使用して、現在のトラックの音量を他のトラックとより一致させます。
- ・ **アルバム・ゲイン** - メタデータのアルバム・ゲイン値を使用して、特定のアルバムのすべてのオーディオ・トラック間で一貫した音量レベルを提供します。
- ・ **スマートゲイン** - BluOS がトラックゲインとアルバムゲインの値を自動的に選択し、現在のリスニングに最適な再生ゲインオプションを提供できるようにします。

注: BluOSは選択したオーディオトラックのメタデータを使用して、トラック間の一貫した音量レベルを設定します。

出力モード: 以下のいずれかを選択して、BluOSプレーヤーのチャンネル出力を設定します:

- ・ **左/右** - 左または右のオーディオチャンネルのみを出力します。
- ・ **モノ** - シングルチャンネルオーディオ出力。
- ・ **ステレオ** - 左右両方のオーディオチャンネルを出力します。

MQA外部DAC: このオプションを有効にすると、BluOSプレーヤーではなく、MQA認定の外部DACでMQAの展開処理を行うことができます。

注: MQA 外部 DAC を有効にするには、出力レベルを固定し、トーンコントロールと再生ゲインを無効にする必要があります。

出力レベル固定: BluOSプレーヤーの音量を最大レベルに設定し、固定できるようにします。これにより、BluOSコントローラーアプリの代わりに、BluOSプレーヤーに接続された外部デバイスを使用して音量を制御することができます。

オーディオクロックトリム: 外部DAC使用時にジッターを低減し、オーディオクロックのタイミング精度を高めるためには効果的です。

注: すべての DAC がこれを処理できるわけではありません。可聴クリッピングやドロップアウトが発生する場合は、BluOSの精度設定が外部DACのファームウェアに干渉しないように、オーディオクロックトリムを無効にしてください。

## プレーヤー設定 (ホーム⇒設定⇒プレーヤー)

IRリモート: IRリモコンを設定するには、古いリモコンを使ってBluesoundプレーヤーに学習させるか、最初から使用可能なBluesound RC1リモコンを使用してください。

- ・ **BluOSリモート**: 同じ部屋に複数のBluesoundプレーヤーがある場合、Bluesound RC1リモコンを有効または無効にして、リモコンが1台のプレーヤーだけを操作するようにできます。複数のリモコンをお持ちの場合は、各プレーヤーに対してIRチャンネルを変更することも可能です。
- ・ **IRラーニング**: ご自分のリモコンをBluesoundプレーヤーと連動するようにプログラムできます。

インジケーターの明るさ: Bluesoundプレーヤーのライトの明るさを調整します

- ・ **ノーマル** - デフォルトの明るさ
- ・ **暗くする** - 明るさを下げる
- ・ **オフ** - ライトを消す

近接センサー: トップパネルのユーザーインターフェースの近接センサーをオンまたはオフに切り替えます。近接センサーがオンのときは、タイムアウトの時間を調整できます。

入力のカスタマイズ: ほとんどの入力はこのメニューから調整できます。各入力の名前やアイコンを変更することができます。

BLUETOOTH: Bluetoothの表示設定や機能に関する設定を行います。

- ・ **手動** - このモードでは、[音楽] タブの [入力] セクションで、ローカル ソースとしての Bluetooth を手動で切り替えることができます。
- ・ **自動** - (デフォルト・モード) Bluetooth接続された機器がオーディオ再生を開始すると、自動的にBluetoothソースに切り替わります。
- ・ **ゲスト** - このモードでは、接続されたBluetoothデバイスがオーディオの再生を開始すると、Bluesoundプレーヤーが Bluetooth ソースに切り替わります。ただし、ソースを切り替えると Bluetooth 接続が切断されます。Bluetooth ソースは、[音楽] タブの [入力] セクションには表示されません。この構成は、複数のBluetooth対応デバイスからオーディオをストリーミングする場合に最適です。
- ・ **無効** - このモードでは、プレーヤーの Bluetooth レシーバーがオフになります。

アナログ入力/光入力/ HDMI ARC: Bluetoothの表示設定と機能に関する設定

- ・ **名前** - 入力の名前を変更します。
- ・ **アイコン** - 入力のアイコンを変更します。
- ・ **自動検知** - 信号を受信するたびに入力が他の入力を上書きするようにしたい場合は、オンにします。入力を自分で変更したい場合や、特定の入力で問題が発生する場合は、オフにします。
- ・ **A/Vモード** - プレーヤーをテレビ信号などのリアルタイム オーディオ ソースで使用する場合は、A/V モードを有効にします。ターンテーブルや CD プレーヤーなどのオーディオのみのソースを使用する場合は、速度よりも品質を優先するため、このモードを無効にします。
- ・ **圧縮グループオーディオ** - グループ化されたプレーヤーで入力を使用する場合にこれを有効にすると、ネットワーク負荷が軽減され、信頼性が向上します。
- ・ **ソースを隠す** - 音楽タブに入力を表示したくない場合は切り替えます。

サーバーモード: BluOSコントローラー・アプリで USBライブラリーにアクセスできるようにするには、USBドライブ (NTFSまたはFAT32ファイル形式) をBluOSプレーヤーの背面にあるUSBポートに差し込み、BluOSコントローラー・アプリの画面上の指示に従います。

- ・ **[はい]** サーバーモードが有効 - USBドライブはローカル ライブラリからネットワーク上の他のプレーヤーと共有されます。
- ・ **[いいえ]** サーバーモードが無効 - USBドライブへのアクセスはUSBが接続されたプレーヤーだけに制限されます。

注意: 接続後、プレーヤーのステータス インジケータ LED が白色に変わり、接続されたライブラリのインデックス作成中であることを示します。音楽ライブラリのサイズによっては、インデックス作成プロセスが完了するまでに時間がかかる場合があります。ステータス インジケータ LED が青色に点灯したら、インデックス作成プロセスは完了です。

# ご注意！

これは、プレーヤーのファクトリーリセットです。Wi-Fi ネットワークの設定、ファイル共有、保存されたプレイリストを含む、すべてのカスタマイズは失われます。リセットが完了したら、これらを再作成する必要があります。

このプロセスは、プレーヤーが機能せず、インターネットによるファームウェアのアップグレードが失敗した場合にのみ推奨されます。ご質問やご不明な点がございましたら、お手続きの前に BLUESOUNDの正規販売店までお問い合わせください。

## ファクトリーリセットの手順

1. 電源コードを抜きます。
2. 30秒待ちます。
3. 電源コードを再接続します。
4. LED が赤になったら、再生/一時停止ボタンを長押しします。LED はすぐに緑に変わり、その後、赤に戻ります - そのまま30秒間ボタンを押し続けてください。
5. 30秒後、LED が赤に点滅し始めたら、ボタンを離してください。
6. Bluesound プレーヤーのカスタマイズがすべて解除され、工場出荷時の設定に戻ります。

**重要：** LED が赤く点滅し始める前に、再生/一時停止ボタンから指を離すと、ファクトリーリセットがキャンセルされ、プレーヤーはアップグレードモードになります。この場合は、再度ファクトリーリセットの手順を開始してください。

プレーヤーがホットスポットモード（ワイヤレス接続の場合、LED は緑に点灯します）に戻ればファクトリーリセットは成功です。プレーヤーが有線のイーサネット接続でネットワークに接続されている場合は、新しいプレーヤーと同様に接続されます（LED が青く点灯します）。

BLUESOUND®

Bluesound International. Bluesound、スタイル化されたワードマークと「B」のロゴタイプ、「HiFi for a wireless generation」というフレーズ、NODE、その他すべての Bluesound 製品の名称とタグラインは、Lenbrook Industries Limited の一部門である Bluesound International の商標または登録商標です。その他すべてのロゴやサービスは、それぞれの所有者の商標またはサービスマークです。